

久米島の海を守る会



(一社)久米島の海を守る会 活動報告

さんごの海フェスタ in 久米島 2018年2月25日

私たち、「一般社団法人 久米島の海を守る会」は、
地元企業・島外企業・久米島ダイビング安全対策協力会
久米島漁協栽培モズク生産部会で構成された
久米島のサンゴ礁の保全、海中清掃、赤土流出防止活動
などを目的にしている団体です。

平成19年('07)任意団体としてスタート、平成22年('10年)法人化



主な加盟企業・団体

- 株式会社 沖縄長寿苑
- 久米島近海魚専門店 かまぼこの店 助ろく
- 久米島ダイビング安全対策協力会
- 久米島漁協栽培モズク生産部会
- 株式会社 島福
- 株式会社 大久
- たびんちゅ
- 有限会社 ねは家具木工（ホームセンターねは家具）
- 株式会社 ポイントピュール
- 真喜志菓子店
- 農業生産法人 有限会社 南の風
- 米島酒造株式会社（五十音順）

計12団体

連携団体

- 一般財団法人 沖縄県環境科学センター
- 久米島赤土流出防止対策協議会
- 久米島漁業協同組合
- 久米島ダイビング安全対策協力会
- 久米島町産業振興課、環境保全課、観光商工課
- 一般社団法人 水産土木建設技術センター
- 株式会社 都市科学政策研究所 (五十音順)
- 沖縄県海洋深層水研究所 (指導) 等

実施主体の活動状況

- ・ オニヒトデの駆除（2007年～08年）（自主活動）
- ・ レイシ貝ダマシの駆除とその駆除した貝殻の買い取り（2007年～）（自主活動）
- ・ 海中、海岸、河川で漂着、投棄ゴミなどの清掃事業（2007年～）（自主活動）
- ・ WWFジャパン久米島応援プロジェクトに参画（2009年10月～2012年9月）
- ・ 赤土流出防止対策（防止板の設置、ベチバーの植え付け等、子供会との赤土堆積量測定）本格開始（2011年5月～）（自主活動）
- ・ 久米島町儀間川河口海域における底質赤土堆積量調査（2011年7月～2018年2月までに計21回）
- ・ E M菌による環境配慮型畜産業の推進事業(2011年7月～2012年3月)
- ・ 体験型環境学習プログラムを久米島観光協会と共同で実施（2011年12月）
- ・ 久米島町との赤土流出防止対策推進の連携協力協定（2013年8月～）
- ・ 久米島の美しい棚田風景再生事業（2013年8月～2014年9月）（県助成金）
- ・ 沖縄県平成26年度赤土流出等防止活動支援事業から支援（県助成金）（2014年7月～2015年3月）
- ・ 久米島赤土流出防止対策協議会に委員として参画（2016年4月～）
- ・ 地元の子供会への田植え体験、食育（棚田米でもちづくり）（2014年4月、9月）
- ・ 生物多様性アクション大賞2015に入賞
- ・ サンゴの産卵観察会【サンゴ増殖研究所】（2016年6月、2017年6月）
- ・ イーフビーチ ビーチクリーン（2017年3月、2018年2月）
- ・ ハテの浜、奥武島イノーにおける環境学習（2017年11月、2018年2月）



オニヒトデの駆除活動



赤土流出防止活動
(ベチバー植付け)



サンゴ産卵観察会



平成29年度サンゴ礁保全活動支援事業

助成対象事業名：久米島における複合的サンゴ礁保全活動

(内容)

- ・久米島の特定海域における赤土堆積量調査
- ・久米島におけるサンゴ礁保全出前授業
- ・久米島におけるサンゴ礁保全と地域活性化の取り組み出張講座
- ・久米島におけるビーチクリーン活動

一般社団法人 久米島の海を守る会

久米島の特定海域における赤土堆積量調査

儀間川河口域：11年7月より計21回

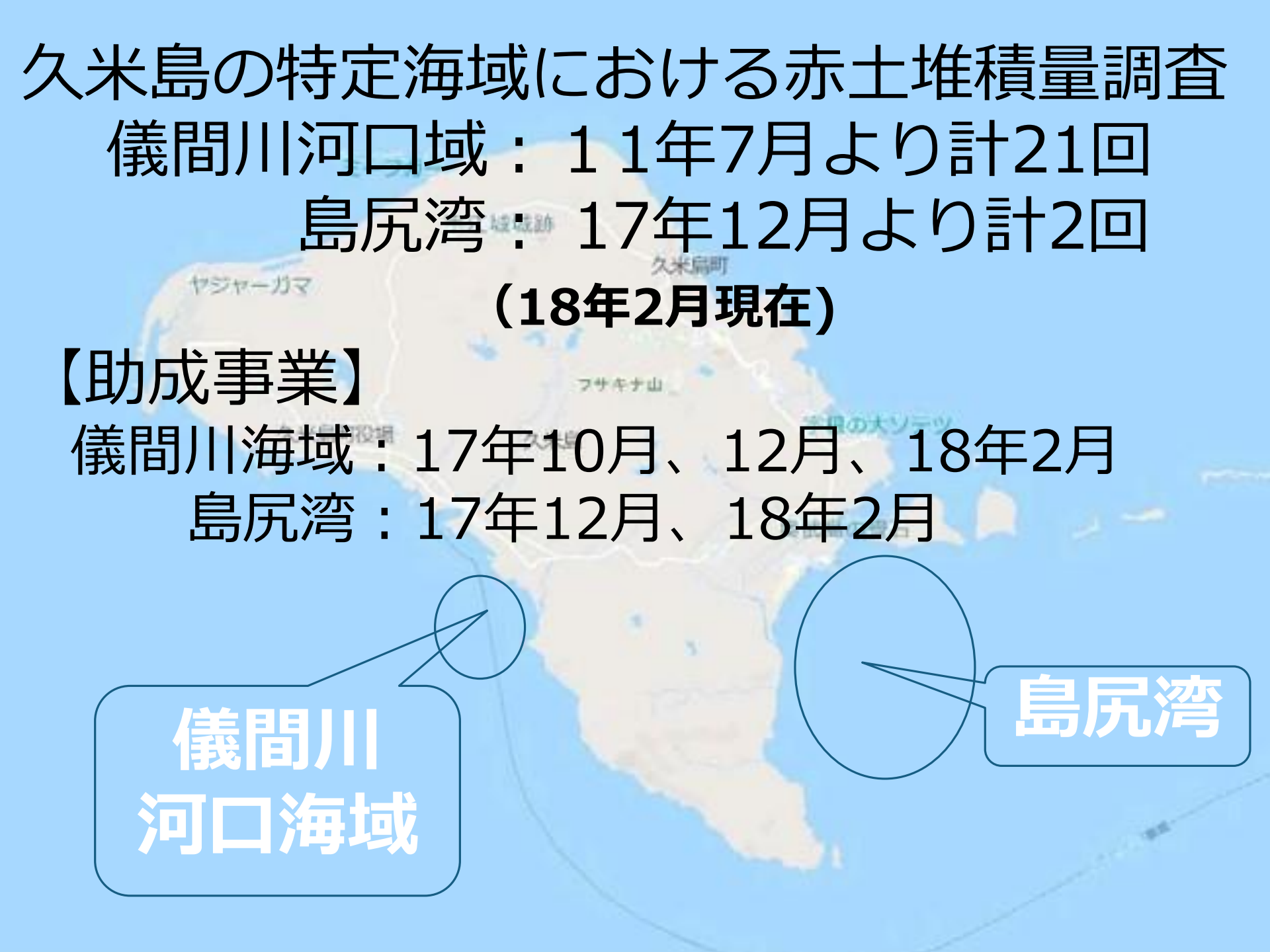
島尻湾：17年12月より計2回

(18年2月現在)

【助成事業】

儀間川海域：17年10月、12月、18年2月

島尻湾：17年12月、18年2月



儀間川
河口海域

島尻湾



ダイバーによる底質の採取



底質の採取

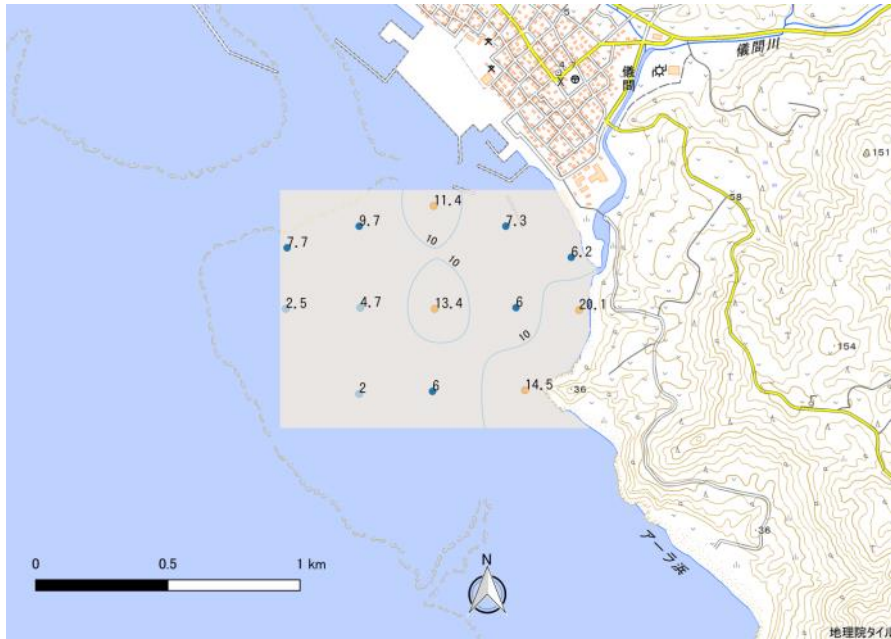
採取した底質の測定



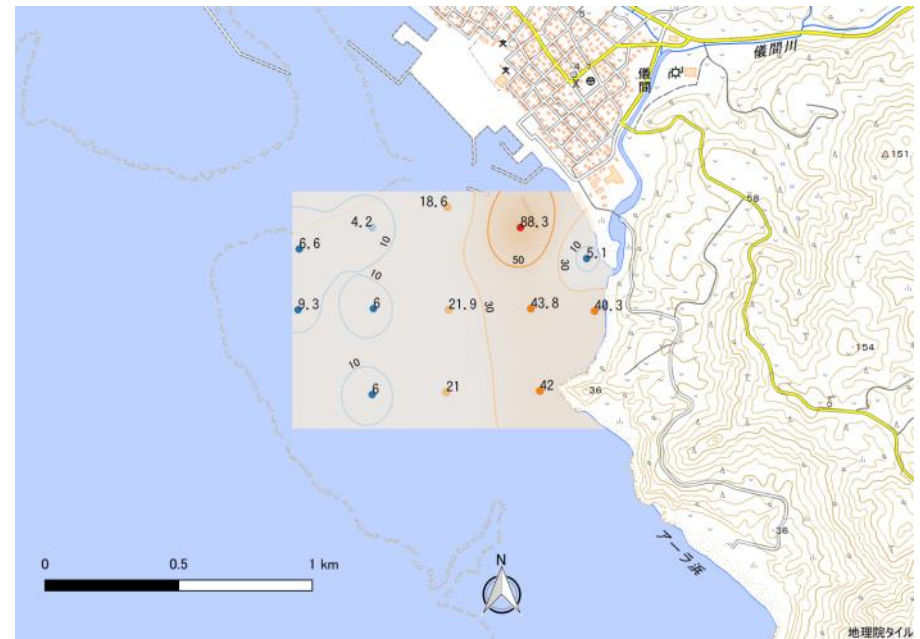
SPSSと底質状況、サンゴなどとの関係

SPSS kg/m^3			底質状況、その他参考事項
下限	ランク	上限	
	1	<0.4	定量限界以下。きわめてきれい。 白砂がひろがり生物活動はあまり見られない。
$0.4 \leq$	2	<1	水中で砂をかき混ぜても懸濁物質の舞い上がりを確認しにくい。 白砂がひろがり生物活動はあまり見られない。
$1 \leq$	3	<5	水中で砂をかき混ぜると懸濁物質の舞い上がりが確認できる。 生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られる。
$5 \leq$	4	<10	見た目ではわからないが、水中で砂をかき混ぜると懸濁物質で海が濁る。 生き生きとしたサンゴ礁生態系が見られる。透明度良好。
$10 \leq$	5a	<30	注意して見ると底質表層に懸濁物質の存在がわかる。 生き生きとしたサンゴ礁生態系のSPSS上限ランク。
$30 \leq$	5b	<50	底質表層にホコリ状の懸濁物質がかぶさる。 透明度が悪くなりサンゴ被度に悪影響が出始める。
$50 \leq$	6	<200	一見して赤土等の堆積がわかる。底質攪拌で赤土等が色濃く懸濁。 ランク6以上は、明らかに人為的な赤土等の流出による汚染があると判断。
$200 \leq$	7	<400	干潟では靴底の模様がくっきり。赤土等の堆積が著しいがまだ砂を確認できる。 樹枝状ミドリイシ類の大きな群体は見られず、塊状サンゴの出現割合増加。
$400 \leq$	8		立つと足がめり込む。見た目は泥そのもので砂を確認できない。 赤土汚染耐性のある塊状サンゴが砂漠のサボテンのように点在。

赤土堆積量の分布図（儀間川河口海域）

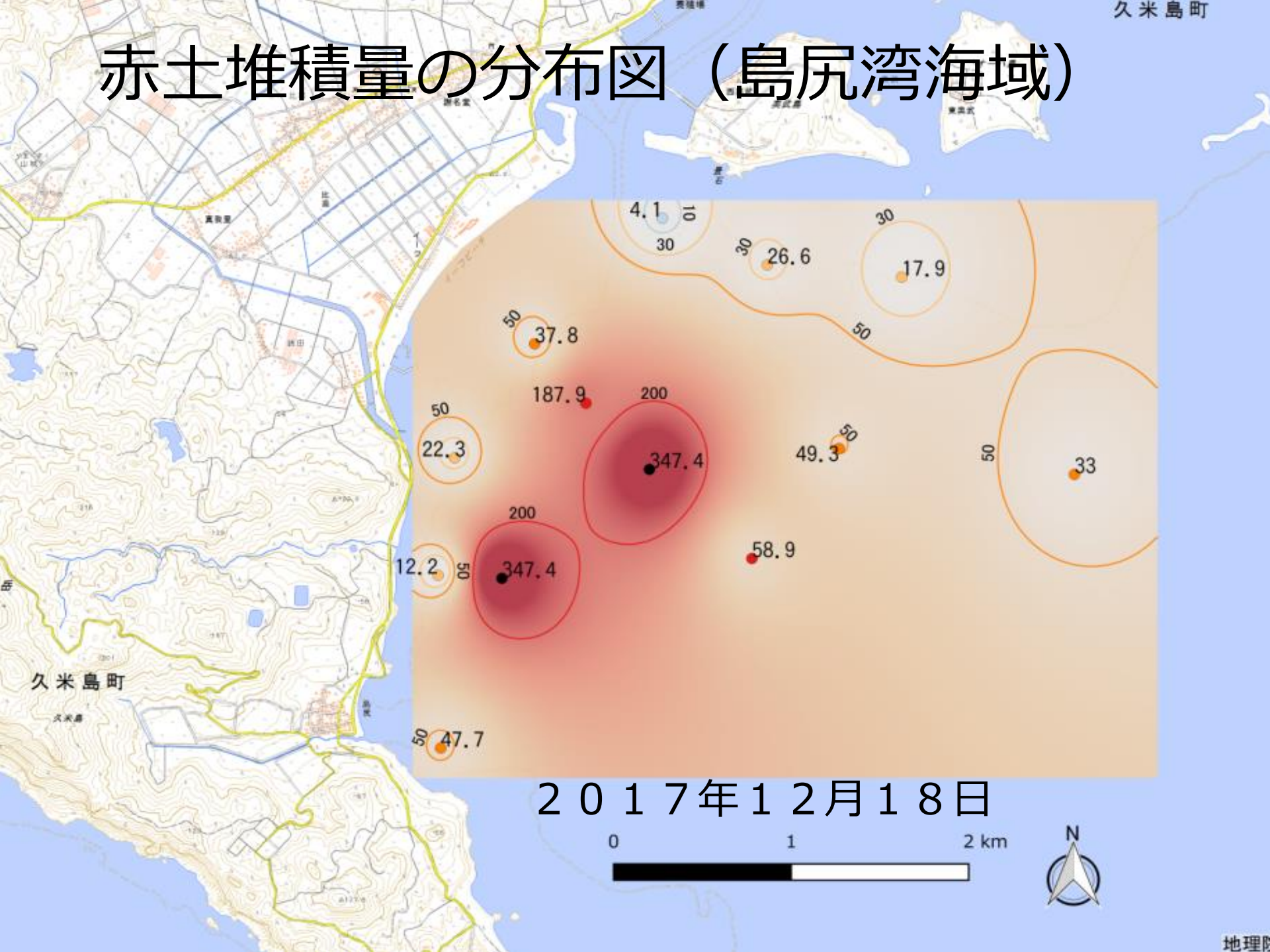


2017年10月31日



2017年12月21日

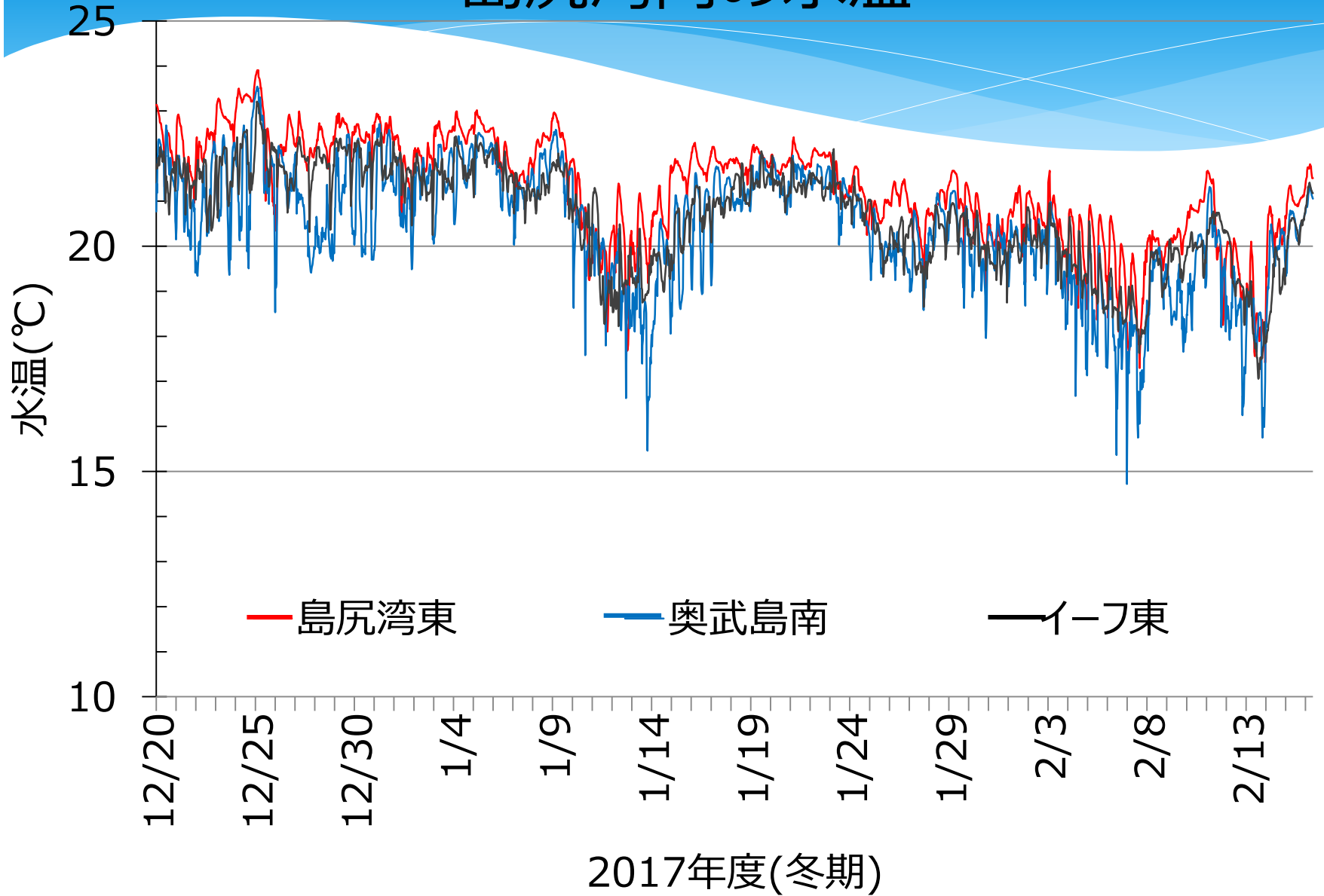
赤土堆積量の分布図 (島尻湾海域)



2017年12月18日



島尻湾内の水温



久米島におけるサンゴ礁保全出前授業 (17年11月5日)



講師によるグラスボートでの出前授業



グラスボートでのサンゴ観察



はての浜へ上陸



はての浜での出前授業



はての浜での清掃活動



清掃活動後の集合写真 (分別後に町に引き取りしてもらいました)



イノー観察 (東奥武島と西奥武島の間)

18年2月18日





クロナマコ



クモガイ



ウデフリクモ
ヒトデ



モズク



アーサの摘み取り体験



アーサの観察

久米島におけるサンゴ礁保全と 地域活性化の取り組み出張講座 (17年11月28日)



久米島におけるビーチクリーン活動 (イーブビーチ) 18年2月18日



水中清掃

A yellow plastic basket is filled with various pieces of marine debris. The items include a clear plastic bottle with a white cap, a white plastic bag, a brown plastic bottle, and several pieces of seaweed and other organic matter. The basket is placed on a blue surface, likely the deck of a boat. To the right of the basket is a wooden frame with a black mesh net. In the background, a pair of black sunglasses and a green object are visible. The scene is brightly lit, suggesting it is daytime.

水中清掃で回収したゴミ

(一社)久米島の海を守る会ビーチクリーン





平成29年度サンゴ礁保全活動支援事業

助成対象事業名：久米島における複合的サンゴ礁保全活動

(内容)

- ・ 久米島の特定海域における赤土堆積量調査
- ・ 久米島におけるサンゴ礁保全出前授業
- ・ 久米島におけるサンゴ礁保全と地域活性化の取り組み出張講座
- ・ 久米島におけるビーチクリーン活動

平成30年2月25日

一般社団法人 久米島の海を守る会